

(様式1-7:住宅・戸建住宅複数)

施設整備(変更)計画書

(記入例)

アイランドシティ環境配慮指針に基づき施設整備(変更)計画書を届出します。この計画書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

年 月 日

(あて先) 福岡市長

申請者住所(法人にあつては所在地)

申請者氏名(法人にあつては法人名及び代表者氏名)

<<施設概要>>

【敷地の地名地番】

【施設の名称】

【主要用途】

【延べ面積(建物全体)】届出部分: 1,400 m²

内訳:

届出以外の部分: 0 m² (変更しない部分)

合計: 1,400 m²

【申請戸数】 10 戸 (届出以外)

【工事種別】 新築 増築 改築 (該当する種別に×を記す。)

【建築物の構造】 (2) 階

木造 鉄骨造 鉄筋コンクリート造 その他 ()

【工事の予定】 工事着手予定 ○年 ○月 ○日

工事完了予定 ○年 ○月 ○日

【環境配慮対策実施状況】

別添(チェックシート): 必要により、実施内容についての説明やカタログ等の添付

【添付図面】

周辺見取り図, 施設平面図, 各階平面図(窓・換気系統記載), 立断面図, 緑化図

【備考】

【建物毎の敷地面積、延床面積、水平投影面積】

建物名称	敷地面積 (m ²)	建物延床面積 (m ²)			建物水平投影面積 (m ²)		
		住宅部分	車庫等 部分	合計	住宅部分	車庫等 部分	合計
合 計							

【建物毎の環境配慮実施状況：緑化面積】

建物名称	敷地面積(m ²) a	敷地内緑化面積 (m ²)				緑化割合(%) b / a
		地表緑化	屋上緑化	壁面緑化	合計 b	
合 計						(平均緑化割合) %

適合の有無を
○×で記載

[住宅整備：戸建住宅] チェックシート

目標像	キーコンセプト	基本的配慮事項	環境配慮対策	実施内容	導入水準	適合有無										備考									
目標1 共生するまちな自然環境と豊かな自然環境の創造	自然環境との共生	<ul style="list-style-type: none"> 生き物生息環境の創造 敷地内緑化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性に配慮した植生の確保 身近な緑の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・垣・柵 ・外構 	緑化にあたっては生物多様性に配慮した植生を確保する。	1													植生等を記載						
					○道路、公園及び緑地沿いにおいては生け垣等により緑化する。	1																緑化図に記載			
					○道路、公園及び緑地沿いにおいては緑地空間を確保する。	1																	緑化図に記載		
					○屋外に駐車場を整備する場合は、周辺部、仕切り部分等、可能な部分を緑化する。	1																	緑化図に記載		
					○屋外に駐車場を整備する場合は、駐車面を緑化する。	2																	緑化図に記載		
					○空地部分は緑化する。	1																	緑化率 平面図に記載		
目標2 ストップ・ザ・温暖化のまちな創造	省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー負荷の抑制 	<ul style="list-style-type: none"> 日照・風の流れに配慮した施設整備 高断熱・高气密化 日射調節 自然採光 通風性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・庇、ブラインド、熱の透過性が低い高性能ガラス、パーゴラ等 ・適切な開口部、天窓、側窓、ライトコート等 ・適切な開口部等 	○日照や風の流れに配慮した施設配置・形状とする。	1																			
					○国土交通省が設定している「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準」及び「同設計及び施工の指針」（次世代省エネルギー基準）を遵守する。	1																	性能評価書を添付		
					○基本的対策として確保する。ただし、冷暖房負荷の増大要因とならないよう適切な配置・形状とする。	1																		緑化図に記載	
					○基本的対策として確保する。	1																		緑化図に記載	
		<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの効率的利用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 節電システムの導入 見える化システム 省エネルギーコントロール コージェネレーションシステム 高効率給湯器の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・LED等節電型照明、調光システム、省エネ型空調、省エネ型エレベータ、換気装置等 ・見える化システム ・家庭エネルギー管理システム (HEMS) ・燃料電池システム、ガスエンジン等 ・高効率給湯器 	○省エネルギー機器（節電型の機器等）を設置する。	1															機器のカタログ等を添付				
					○計測したエネルギー消費量やCO ₂ 排出量等を、モニター等で入居者等にわかりやすく表示するシステムを導入する。	1																		説明書等を添付	
					○街区等を単位として、計測したエネルギー消費量等のデータを集約化し、省エネアドバイス等、各々の住宅所有者にフィードバックするシステムを構築する。	2																			説明書等を添付
					○見える化に加え、家電機器等の省エネコントロールシステムを導入する。	2																			説明書等を添付
					○コージェネレーションシステムを導入する（家庭用ガス発電給湯暖房システム（エコウィル）、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）等）。	2																			カタログ等を添付（CO ₂ 削減量を含む）
					○潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）、自然冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）等を導入する（家庭用ガス発電給湯暖房システム（エコウィル）、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）は除く）。	1																			カタログ等を添付（CO ₂ 削減量を含む）

[住宅整備：戸建住宅] チェックシート

目標像	キーコンセプト	基本的配慮事項	環境配慮対策	実施内容	導入水準	適合有無										備考				
目標2…ストップ・ザ・温暖化 のまちの創造	省エネルギーの推進	●エネルギーの効率的利用の推進	○AEMS(エリア・エネルギー・マネジメント・システム)、スマートグリッド	○地域レベルのエネルギーマネジメントシステムや、再生可能エネルギーの集中導入などに対応するスマートグリッド等を導入する。	3													説明書等を添付		
			○ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)	○ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)として建設する。	2														説明書等を添付	
			○LCCM(ライフサイクル・カーボン・マイナス)住宅	○LCCM(ライフサイクル・カーボン・マイナス)住宅として建設する。	3														説明書等を添付	
	再生可能エネルギーの利用	●自然エネルギーの利用推進	○太陽光など未利用自然エネルギーの活用	○太陽光発電システムを導入する。	1														カタログ等を添付(出力)	
				○太陽光発電以外の再生可能エネルギー(太陽熱利用、風力発電等)を利用する。	2															カタログ等を添付(CO2削減量を含む)
CO2の固定化	●木材系資材の利用推進	○住宅用建材としての利用	○内装等を木質化する。	1														品目等を記載		
目標3…人と環境にやさしい 交通を取り入れたまちの創造	自動車交通の負荷抑制	●次世代自動車等の利用推進	○次世代自動車等が利用できる建築設備的対策の導入	○駐車場等への電気自動車用充電設備を設置する。	2													設置場所等を平面図に記載		
目標4…水や資源を生かすまちの創造	水資源の有効利用	●高度な節水対策の推進	○節水型機器の利用	○使用機器は節水型とする。	1													カタログ等を添付		
			●雨水の有効利用の推進	○保水の確保(*)	○空地部分は、緑化等により雨水浸透を行う。	1														平面図に記載
		○敷地内等の舗装部分は、透水性舗装等により雨水浸透を行う。			1															平面図に記載
		○地上に駐車場を整備する場合には、緑化や透水性舗装等により雨水浸透を行う。			1															
			○雨水の雑用水利用	○雑用水(散水、洗車等)に雨水を利用する。	2													平面図に記載 貯水槽容量		
	循環型システムの形成	●リサイクル品の利用推進	○建築物、敷地内通路、オープンスペース等への利用	○福岡市グリーン購入ガイドライン「15.公共工事」に示される再生資材を利用する。	1														リサイクル堆肥等を記載	
				○リサイクル鋼材等を利用する。	1															カタログ等添付
		●ライフサイクルでみた省資源対策の推進	○建設廃棄物の発生抑制	○建築物の長期利用のための高耐久化	○再生利用・再使用が可能な建設資材および工法を選定する。	1														品目等を記載
					○維持管理の容易性、改修・更新への対応性(住宅性能表示制度の維持管理対策等級3相当)を確保する。	1														
				○躯体の劣化対策(住宅性能表示制度の劣化対策等級3相当)を講じる。	1														証明書等を添付	
			○長期優良住宅の認定基準を満足する住宅とする。	2														証明書等を添付		
CASBEE			○CASBEEによる評価	○CASBEE戸建による評価を行い、B+ランク以上を取得する。	3													証明書等を添付		